

# 町政を問う!!

10 議員が質問・提案を

## 災害対策本部

### 佐賀支部予定地は安全か

### 優先順位を精査し要望する



いわよし 岩義 議員  
ふじもと 藤本

**問** 近いうち起きるといわれている南海地震の災害対策本部佐賀支部を設置予定の拳ノ川長瀬地区は、高知県の告示によると「土砂災害警戒区域・急傾斜地の崩壊」に指定をされている。ここには保健センター、診療所など公共施設や町営住宅等があり、100人以上の住民が仕事や生活を営んでいるが、今後の対策を聞く。

**答** 大西町長

土砂災害警戒区域に指定さ

れば対策の要望はするが、現実的には難しい。災害対策本部佐賀支部機能として想定している長瀬地区は、指摘された意見を参考に優先順位を精査し、関係機関に要望活動をする。

## 地域活性化

### 赤字の地域団体に課税なぜ

### 対応を考慮中

**問** 地域活性化を目指している地域の団体にみなし法人税が課税されている。町内の同様な団体にも課税がされているのか。

また、町が育成している団体であるので免除等の対策は考えられないか。

**答** 川村 税務課長

佐賀北部地域協議会は、収

益事業を行う法人とみなされ、均等割りが地方税法に基づき課税がなされているので免税はできない。また、課税は当団体以外されていない。収益は上がっていないことは承知しているので早い段階で税務署とも協議していきたい。

## 地域医療

### 拳ノ川診療所の医師確保は

### 確保に向け対策強化

**問** 拳ノ川診療所は医師が居なくなつて8カ月以上が経つが、確保に向けて努力をしているか。近年、国保の医療費も高騰している。保健、医療、福祉の一体化を考えると、直診である拳ノ川診療所の果たす役割は重要と考えるが、町の重要事項として取り組んでいるか。

**答** 大西町長

医師確保は町の最重要課題として位置づけ取り組んでき

たが、未だ確保できていない。これについては、まだまだできる取り組みもあると思われる。再度検討し、対策を強化する。

## 情報基盤

### 4局目の放送はいつか

### 26年度内を 目指している

**問** 何回も質問をしているが、質問のたびに日延べになっている。4局目の放送はいつになるか。

また、災害時に有効なラジオの難聴対策も有利な方法が見つかったのか。

**答** 松本 情報防災課長

現在、隣接市、町、朝日放送と災害放送協定が締結できたので平成26年度内に放送が開始できるよう関係機関に要望調整を強化中。

ラジオ難聴対策は、総務省ラジオ難聴解消事業に事業申請を行い、難聴解消を行うべく検討を進めている。